

## 平成27年度 社会福祉法人 太宰府市社会福祉協議会 事業計画

### 基本方針

現在のわが国は、世界に例を見ないスピードで少子高齢化が進んでおります。高齢者においては、年々増加する認知症高齢者の存在や拡大する悪質商法や振り込め詐欺、虐待等の被害者となるケースが多発しております。また、子ども達におきましても、犯罪に巻き込まれる実情が、大きな社会問題となっています。さらに、社会経済情勢が大きく変容しており、生活困窮者や就労支援の必要性など、さまざまな問題も顕在化しています。本市におきましても同様に、地域における福祉課題は多種多様化、複雑化しているのが現状です。社会福祉協議会として相互支援の取り組みを地域住民とともに考え、構築していく時期として、地域福祉の充実を図ります。

このことにつきましては、昨年度に新規事業として各自治会のご理解・ご協力により、開催させていただいた「地域福祉懇談会」が、地域の現状を知り得る機会となり、今年度の事業に反映できるものを見い出す場となりました。

また、第2次太宰府市地域福祉活動計画の中間期となる観点からも、地域福祉の基盤となる高齢者福祉や障がい者福祉、子育て支援、ボランティア活動等、幅広い福祉の向上とともに、いつ起こるか分からない自然災害時にも、お互いが助け合い、支え合う支援の絆を強化していくことをめざします。

### 重点施策

#### 1. 第2次太宰府市地域福祉活動計画の推進

社会福祉協議会の活動指針となる地域福祉活動計画の中間期として、昨年度から取り組んだ「地域福祉懇談会」のまとめを作成します。懇談会から挙がってきた共通する課題・問題を中心に、各自治会の地域性を活かす事業となるよう努めます。

また、地域と向き合う場となった「地域福祉懇談会」は、社会福祉協議会にとって貴重な事業であることから、今年度も継続して取り組み、地域福祉の充実を図ります。

#### 2. あんしんシステム事業「ほのぼのサービス」の充実

市内の高齢者を始めとする地域住民が、住み慣れた地域で安心して暮らすための福祉サービスの一つである「ほのぼのサービス」は、高齢者や障がい者等への訪問や生活費の管理・財産の預かりを行います。今年度は、「ほのぼのサービス」の啓発活動にも力を

入れ、社会福祉協議会らしく柔軟に対応できるサービスとして拡充に努めます。

また、法人後見等の職務遂行や相談事業より、これから迎える超高齢社会を見据え、法的制度である成年後見制度の認識を広げる啓発活動が必要だと考えます。今年度は、校区や地域ごとの出前講座を開催し、より身近な制度となるよう努めます。

### 3. 共同募金運動の推進及び充実

赤い羽根共同募金は、さまざまな地域福祉の課題に取り組む、民間の社会福祉事業を支援する大切な仕組みとなっています。“自分のまちを良くする募金！”をキャッチフレーズに、共同募金運動の周知及び協力体制の強化を図るとともに、募金を財源とする事業が、住民にとって身近な事業として展開されるよう努めます。

### 4. ボランティア活動の推進

昨年も広島市の土砂災害や長野県北部での地震をはじめ、全国各地で自然災害が相次ぎました。今後のボランティアセンターとしての役割のなかに、災害時における災害ボランティアセンターの設置・運営は、大変重要になってくると考えています。このことから、防災講座の開催につきましては、太宰府市 NPO・ボランティア支援センターとともに、自治会役員及び各種団体、機関、学校等の参加と協力により、充実した講座になるよう取り組みます。

さらに、日頃からの情報収集や情報の提供、活動の調整及び各種講座の開催等、機能充実にも努めます。

### 5. 保育所太宰府園の保育事業の拡大

保育所太宰府園におきましては、保育指針を遵守して養護と教育が一体となった保育を展開してまいります。保護者とのパートナーシップと豊かな関係づくりを軸に、個々の子どもの状況や発達過程を踏まえた上で、思いや願いを十分に受け止めながら、心身ともに安心して、乳幼児期にふさわしい体験を積み重ねることが出来るよう取り組みます。

子育て支援センターたんぽぽクラブでは、誰でも安心して気軽に参加できる身近なサポート施設として、積極的に活動してまいります。その中で、利用者の子育てに寄り添い、子どもへの愛情や成長を喜ぶ気持ちを共感しながら、利用者自身が自信を持ち、子育てを楽しんでいることが出来る働きかけや環境づくりを行います。

社会が変化していく中で、多様な保育ニーズに応えるために、職員一丸となって保育の質の向上に努めながら、利用者や地域により信頼される保育所づくりを目指してまいります。

## 6. 安定的自主財源の確保

これまでに述べた重点施策をはじめ、各種事業を推進していく財源等につきましては、経費節減は言うまでもなく、活動の工夫、賛助会制度の周知拡大と協力依頼に努めるとともに、安定した財源の確保に努めます。

最後になりますが、社会福祉協議会役員・職員一丸となり「共生と共創のまちづくり」の実現に向け、重点施策に取り組んでまいりますので、市民の皆様をはじめ、自治会長や民生委員、福祉委員、関係各位のご協力とご支援をお願い申し上げます。

平成27年3月23日

社会福祉法人太宰府市社会福祉協議会

会 長 松 島 幹 彦